

観血的整復固定術の出血量、手術時間に及ぼす影響に関する研究

1. 研究の対象

2021 年 1 月～2023 年 12 月に当院で上腕骨もしくは大腿骨の骨折に対し観血的整復固定術を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間: 所属機関の長の研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

研究目的: 外傷性骨折と転移性病的骨折によって手術時間や出血量などに差があるかを明らかにすることです

研究方法: 診療記録を後ろ向きに調査し、手術時間や術中出血量等を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、性別、手術時年齢、性別、手術時間、術中出血量、等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、個人情報を除いた匿名化された情報のみをメールで行います。対応表は、個人情報管理責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター 整形外科 竹中聡

共同研究機関及び研究責任者

金沢大学医学部 整形外科 林克洋

杏林大学医学部 整形外科 森井健司

九州大学医学部 整形外科 遠藤誠

三重大学医学部 整形外科 中村知樹

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍リハビリテーション科 小林英介

岡山大学医学部 整形外科 中田英二

新潟大学医歯学総合病院 整形外科 川島寛之

弘前大学医学部 整形外科 大鹿周佐

防衛医科大学校 整形外科 堀内圭輔

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

課題番号:2024-250

作成日:2024 年 06 月 27 日 第 1 版

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 小林英介

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511

研究責任者：小林英介

-----以上